

おにぎり大使派遣事業

研修報告書



2017

July 26 - August 1



Australia Sydney

ゆうおうまいしん

勇往米進

～世界に輝け日本のおにぎり～



目 次

発刊にあたって	・ ・ ・ ・ ・	P 1
研修日程	・ ・ ・ ・ ・	P 2 ~ P 3
団員・引率者感想文	・ ・ ・ ・ ・	P 4 ~ P 4 5
現地研修風景	・ ・ ・ ・ ・	P 4 6 ~ P 4 7
研修報告	・ ・ ・ ・ ・	P 4 8
団員・引率者名簿	・ ・ ・ ・ ・	P 4 9

発刊にあたって

石巻地区広域行政事務組合

理事長 石巻市長 亀山

紘



本組合では、石巻圏域の将来を担う青少年の人材育成を目的に、平成三年度から「石巻地域ふるさと市町村圏基金」の利子を活用して「青少年海外派遣事業」を実施してまいりました。平成九年度からは、この事業の名称を現在の「おにぎり大使派遣事業」と改め、これまでに七百三十人の中学生がこの事業に参加して、現在各方面ですばらしい活躍をしております。

この事業の目的は、学校訪問やホームステイを通して外国の生活・文化に直に触れることや、現地に石巻圏域の主要産品である「米」と「海苔」を持参して「おにぎり」を作り、日本の食文化の一つとして紹介することであり、「おにぎり大使」の名称はここから生まれたものです。

本年度の派遣団は、石巻圏域内の中学校二十二校から三十二人の団員及び団長を含む引率者六人の三十八人編成とし、研修日程は、七月二十六日から八月一日までの六泊七日で、研修地をオーストラリアのシドニーとしました。

オーストラリアは南半球にあり、二百以上の異なる民族が混在している多民族国家です。団員たちがシドニーを訪れたとき季節は冬でしたが、日中は二十度前後まで気温が上がりが過ごしやすい気候であることや、日本との時差がわずか一時間であること、そして比較的治安が良いということから、研修地として最適だったと思います。

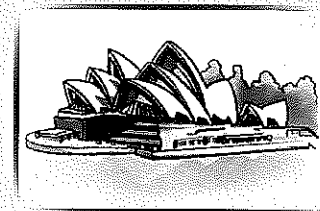
団員のみなさんはシドニーで大変貴重な経験をされ、「おにぎり大使派遣事業」の所期の目的を立派に達成したと思います。この研修の成果を今後の人生に生かし、石巻圏域の将来を担う人材に育ってくれるものと期待しております。

結びになりましたが、本事業の実施にあたり、御支援、御協力を賜りました教育機関、いしのまき農業協同組合様及び宮城県漁業協同組合石巻地域センター様などの関係機関、また、御指導をいただきました引率の先生方並びに保護者の方々に対し厚く御礼を申し上げます、発刊のあいさつといたします。

平成29年度おにぎり大使派遣団



おにぎい大使 派遣事業



研修日程



▲事前研修の様子



▲出発式の様子

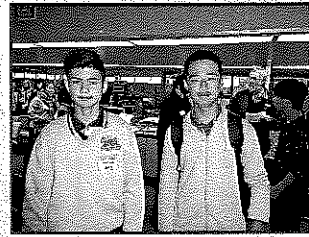
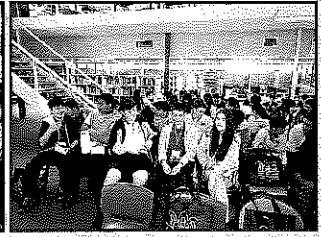


▲シドニー市内見学風景

日程	時間	研修内容
7月26日 (水)	10:30	出発式 (石巻地区広域行政事務組合)
	19:15	羽田空港到着
	22:00	羽田空港出発 カンタス航空でシドニーへ!
7月27日 (木)	8:10	シドニー空港到着
	9:15	シドニー市内見学 オペラハウス ミセスマッコリーズポイント オーストラリア博物館など
7月28日 (金)	15:20	ホテル滞在、ショッピング
	9:30	学校訪問 DULWICH HIGH SCHOOL 授業体験、文化交流など
	16:15	ホストファミリーと対面
7月29日 (土)	16:30	ホームステイ開始
	終日	ホームステイ 32名の団員が15の家庭でホームステイをしました。
7月30日 (日)	終日	ホームステイ
	夕刻	さよならパーティ
7月31日 (月)	18:00	ホストファミリーとお別れ
	9:30	シドニー市内見学 シドニータワー、タロンガ動物園など
	18:30	シドニー空港到着
8月1日 (火)	20:45	シドニー空港出発
	5:20	羽田空港到着
	13:20	石巻到着・帰着式 (石巻地区広域行政事務組合)



▲▼社員とホストファミリー



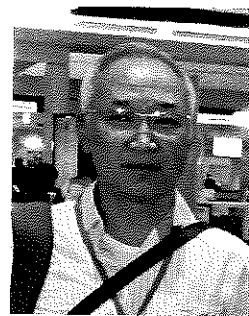
▲学校訪問（パティと対面）



▲▼学校訪問（おにぎり作り&体験授業）



「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻地区広域行政事務組合
事務局長
団長 **阿部 雅幸**

今年度のおにぎり大使派遣事業は七月二十六日から八月一日までの日程でオーストラリア・シドニーを研修会場を実施しました。

縁あって派遣団を結成した団員三十二名は、初めて一堂に会した結団式では期待よりも不安や緊張を窺わせる表情を見せていましたが、第一回事前研修を終える頃には、笑顔も多く見られ仲間意識を高め、それぞれがおにぎり大使としての自覚と責任を認識していると感じさせてくれました。これは、団員との信頼関係を早々に構築し、最後には敬慕されていた引率の先生方の研修の進め方、団員への対応の妙によるものと感嘆いたしました。

現地での研修は、概ね天候にも恵

まれ大きなトラブルもなく、期待以上の成果を挙げ無事終了することができました。

ダルウィッチハイスクールでの学校訪問では、たいへん心温まる歓迎を受け緊張からスタートしたパディとの対面後、わずかな時間ですっかり打ち解けてみせる順応性の高い団員達。また、ホストファミリーとのさよならパーティーでは、別れを惜しみながらも、自信に満ちた表情を見せ、その充実ぶりを窺わせる団員達。本事業の意義と必要性を実感させられる数多くの場面に出会うことができました。



▲ダルウィッチハイスクールにて記念品の交換

特に、「非常に礼儀正しく、とても素直で素晴らしい子供達でした・・・」と、一人のホストファミリーから熱く語られたときには、団長としてとても誇らしくあり、また、本事業の目的や実施に至る経緯など熱心な質問を受け、現地での本事業に対する注目の高さも知ることができました。

個人的にも、「二ヶ月の休暇を取得し、子供達と共に自身の故郷ポルトガルと夫の故郷イギリスを含めヨーロッパ各地を家族旅行する・・・」と、ダルウィッチハイスクールの校長先生がランチのときに語った言葉に、多民族国家オーストラリアの懐の大きさや寛容さに、驚きと深い感銘を受けた研修となりました。

団員たちは、言葉や文化、生活習慣の違いを肌で感じるとともに、日本の食文化である「おにぎり」を紹介し、現地の方々と交流を深めてまいりました。この貴重な経験を自身の将来に活かし、一人でも多く石巻圏域を担う人材に成長することを大いに期待したいと思います。

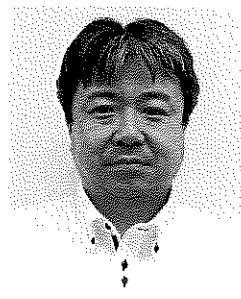
終わりに、本事業の実施あたり御指導、御協力をいただきました引率

の先生方、並びに学校関係者の皆様、そしてご支援いただきました関係各位に対し、厚く御礼申し上げます。



▲シドニー到着後、ダドリーページにてシドニー市内を一望

「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻市立牡鹿中学校
教諭 鈴木 実

おにぎり大使の引率が決まり、引率の抱負の最後に「三十二人の大切な命を預かっていくという重責を担っていることを忘れず、安全には細心の注意を払い、この責務を全うしたい。」と書きました。石巻に帰ったときの安堵感はこれに尽きると思います。これまで十数名の教え子がこの事業でお世話になっています。O中での教え子はキャビンアテンダントになることを決意し、前任校での教え子は自信に満ちあふれた表情で帰国し、迷っていた進路選択も何事もなかったかのように石巻高校への進学を決めました。この研修に参加した生徒たちは皆一回り大きくなり笑顔で帰ってきたことが思い出されます。

オーストラリアでのガイドのミチコさんがしきりに褒めていたことは、生徒たちの意欲の高さ、それを作っ

ているのが四日間の事前研修であることは、この事業が長く続いている要因だと考えます。また、おにぎりを作った現地の人に食べさせる、そんなシンプルかつ確かな活動がこの事業を支えています。壮行式で受け取る米と海苔、生徒たちの表情は一気に緊張感を増します。たくさんの思いを背負ってこの事業は成り立っています。

ダルウィッチハイスクールでの交流、学校に着くなり生徒たちはバディと一対一の状況、戸惑う生徒の様子が見て取れます。しかし、たった四時間ほどの交流で、最後には別れが惜しく触れ合う光景を見ると生徒の持つ力はすごいなとあらためて思いました。二泊三日のホームステイも



▲ダドリーページにて

同様です。ホストファミリーに連れて行かれるときには借りてきた猫のような表情で車に乗っていったのに、帰ってきたときには身振り手振りを交えながらお世話になったファミリーと話す姿には感動すら覚えました。これだけの経験をするのだから、みんないい表情で帰ってくるわけだと納得しっぱなしのオーストラリアでの毎日でした。

日本では味わえないものを見て触れて世界は広いなと感じてきました。が、今回素敵な三十二名の生徒たちとの出会いからは世の中は意外と狭いものだと感じました。I中のH君とはスポ少で剣を交え一緒に団体戦に出場したことがあります。I中のM君は前任校の教え子Mさんの息子、教え子の子を引率するなんて考えもありませんでした。O中のMさんはO中の教え子Mさん、T君の幼なじみ、S中のYさんはO中の教え子Rさん、いとこだったかな。そしてこれまでお世話になってる先生方の教え子の多いこと、大半の生徒とはその先生方とのつながりで話が弾みました。そして、事後研修会の前日には、W中のS君が叔父の親戚の子と分かり最後にまたびつくりしました。うちの学校のR君も頑張ったし、前任校でかわいがったMさんも笑顔いっぱいだったし、娘の後輩Hさんも元気いっ

ぱいでした。先生忘れないでねとRさんとAさん、Aさんは生徒の前に立って話す私の話を最後まで笑顔で聞いてくれました。たった十二日間ではありましたが、素敵な生徒たちと出会うことができたことに感謝するとともに、一緒に貴重な体験をすることができたことを本当にうれしく思います。おにぎり大使三十二名の今後益々の活躍を心から応援しています。

最後になりましたが、この研修の機会を与えてくださった石巻地区広域行政事務組合の皆様をはじめ、関係者の皆様には深く感謝申し上げます。これからは、この事業に携わり感じたことをしっかりと伝え、おにぎり大使派遣事業というすばらしい事業が未永く石巻圏域の青少年の人材育成の場となるよう応援していきます。



▲羽田空港にて (1班)

おにぎり大使派遣事業に参加して

河南東中学校 相澤 亜子



私は、おにぎり大使派遣事業を通して、多くの貴重な体験をすることができました。

特に、学校訪問とホームステイでは、普段はできない体験をすることができました。

学校訪問では、日本と海外の学校の違いや文化の違いを、見て、触れて体験することができました。バディとは、初めは緊張で少ししか話せませんでしたが、段々緊張がとけてとても仲良くなることができました。

ホームステイでは、英語で日常会話を話せるか不安でいっぱいだったけど、ホストマザーがとても優しい人で、不安がなくなり、とても楽しいホームステイになりました。

この事業で経験したことを自分のこれからの人生に生かしたいと思います。

また、この事業を支えてくださった沢山の方々へ感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

個人行動目標

班長としての役割をしっかりと行い、自分の将来にいかせるようにする。

達成度

100%

ONIGIRI AMBASSADOR

Home Stay

Mother: Mrs Gail



ホームステイでは、ホストマザーに沢山のきれいな景色が見える場所につれていってもらいました。おにぎり作りでは、のりたまのおにぎりがおいしいと言ってくれて嬉しかったです。

Dulwich High School

バディ: Carly



学校訪問では、Carlyに学校紹介してもらったり、ハンドボールで遊んだり、とても楽しかったです。海外の学校を知ることができて良かったです。

おにぎり大使派遣事業を 終えて

石巻中学校 遠藤 彪羽



私たち三十八名
のおにぎり大使
は、使命と自覚を
もっておにぎりに
込めた温かい心を
伝えさらなる友好

につなげてくれたことを嬉しく思います。

シドニー市内見学では、念願のオペラハ
ウスを観ることができました。壮大かつ美
しい建築様式に心をうばわれしばらく無言
でたたずみました。ダルウィツチハイス
クールでは、バディが私を歓迎してくれて
お土産のだるまを喜んで受けとってくれま
した。みんなでおにぎりを楽しく食した思
い出は忘れません。

ホストファミリーとの出会いは運命的で
した。私と同じ名前の息子がいるお宅で、
三人の男の子たちとの交流は、まるで兄弟
のようでした。庭でバーベキューをして食
べた肉のおいしさは世界一だったし、私と
真君が握ったおにぎりをグラント家のみな
ながおいしそうにほおぶる姿は忘れれるこ
とはないでしょう。日本に帰国した後私の母
がお礼のメールを送るとすぐに、写真つき
の返事が返ってきました。日本とオースト
リアの距離は遠くても私とグラント家の
結び付きや友好の深さは永遠であることを
感じました。私の人生が豊かになりました。

個人行動目標	達成度
おいしいおにぎりを握る 自分の英語力を 高めた	100% / 90%

ONIGIRI AMBASSADOR

学木交訪訪問

学校訪問では、フルーツバスケットや、おにぎりをつくりました。

ホームステイ

1日目 ホストファミリーの車に乗り、お腹のすいていた
ぼくたちに家に着く前にケンタツキーをこご
そうしてくれました。

2日目 サッカー教室にいっしょに行き、子ども達
のサッカーを見た後ビーチに連れて
いってもらいビーチでラグビーや
フリスビーをしました。

3日目 湖に釣りに行きました。初めて
湖で釣りしたのですが、魚の食いつ
きかはやくておびうきました。



おにぎり大使派遣事業に参加して

山下中学校 阿部 りほ



一週間、おにぎり大使に参加して学び、楽しむことができました。

しかし、出発する前日は少し緊張と不安がありました。出発式が終わると緊張と不安は吹き飛びました。

私が楽しみにしていた三日目の学校訪問では、バディがたくさん話しかけてくれて話が盛り上がりました。時々、内容を理解するのが難しいときもありました。けれども、ゆっくり話してくれたり、簡単な言葉にしてくれたりしたので私も英語で伝えようと頑張りました。互いに話して会話がはずみ、忘れられない楽しい一日を過ごしました。

今回のおにぎり大使で研修して私が成長したところをこれからの生活に生かしたいと思います。

そして、たくさん私の周りの人には迷惑をかけましたが、応援してくれた家族や先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

個人行動目標 たくさん写真を撮って中学校生活の 良き思い出にする🌸	達成度 1😊😊%
---	-------------

おにぎり大使

7月26日
8月1日

The 1st day
家族みんなが夕食🍴😊

The 2nd day
シャッピングと海へ🏖️🚢

The 3rd day
昼食におにぎり作り🍙👨🍳
さよならパーティ🎉
UNOを🎲

感想

1週間、学校の代表・石巻の代表としてオーストラリアに行くことができて、すごくいい経験を積みました👍😊

mother

father

ホームステイ & 学校訪問

Nice buddy

みんなでお菓子を食ったり🍪

ハンドボールをして、おしゃべりした時間はあっという間でした～😊😊

バディ ⇨ ソフィー

- ・ネパールとオーストラリアのハーフ!
- ・高校1年生でアート専門!
- ・日本が大好き!

・趣味は寝ること! 食ること!

おにぎり大使派遣事業に
参加して

矢本第二中学校 内海 咲



私は、おにぎり大使派遣事業に参加して、日本では体験できないことをたくさん体験す

ることができました。その一つ一つが、とても新鮮で、貴重な経験となりました。

特にホームステイでは、たくさんの「初めて」がありました。戸惑うこともありましたが、文化の違いとして視点を改めて見ると、とても興味深くなっていきました。

そして、ホームステイや学校訪問では、相手の言ったことを聞き返したり、確認したりすることの大切さを学びました。集合や起床の時間はとても大切で、聞き取れなかった場合は、必ずもう一度言ってもらったということが大事になると実感しました。

最後に、私は、この素晴らしい経験をさせてもらうために、サポートやご指導して下さいました先生方、家族、支えてくれた人達に感謝したいです。

個人行動目標 きちんとマナーを守って行動する おにぎり大使としての自覚を持つ	達成度 100%	もっと英語を勉強したくなった!
--	-------------	-----------------

～ ONIGIRI AMBASSADOR ～
☆2017☆ in Australia

Home Stay



Host Mother with two dogs
Jay-jay & CoCo
Gail さん
とても優しく、料理上手♪
特にラムが美味しかった...♡

Dulwich High School



ソーランを
ほめてくれたし
笑顔がステキ

バティは日本人とオーストラリア人のハーフの Taklia (タリア) だった。1つ年上で、お姉さんのように優しく、美しい英語を日本語に訳して話してくれた。

Day 1

ホストマザーのお孫さんと一緒に折り紙をした。

Day 2

バハイ教会に連れて行ってもらった。そして、お昼におにぎりを作って、食べた。よろこんでもらえてよかった...!

Day 3

ショッピングに行った。すごくおいしいクッキーをプレゼントしてくれた!

おにぎり大使派遣事業を 終えて

青葉中学校 板橋 知哉



今回のおにぎり

大使派遣事業で
は、四回の事前研
修を経てオースト

リアへ行きましたが、正直不安と心配だらけでした。でも実際オーストラリアに行ってみるとみんな明るく積極的に英語が苦手な自分でもなんとかなりました。ホームステイ先での家族とのふれあいやダルウィッチハイスクールへの学校訪問は、日本とは異なった文化にふれることができ、とても貴重な経験をすることができました。

今回のおにぎり大使派遣事業を通して、コミュニケーションの重要性、そして自ら伝えようとすることの大切さを身をもって知ることができました。

最後に、このようなとても貴重な機会をいただいたこと、サポートしてくださった先生方、両親、支えてくれた方々に感謝します。一生の宝物になりました。

個人行動目標

日本の文化を伝えて
英語を上達させる

達成度

80%

ONIGIRI AMBASSADOR

ホームステイ

1日 ホームステイと文通し共に馬の所に行き糞を掃除した。

2日 ホームステイ先の妹のスポーツという馬の大会の観戦に行きた。

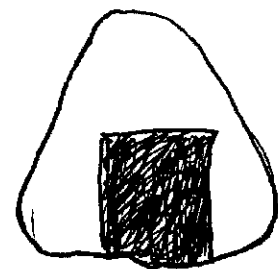
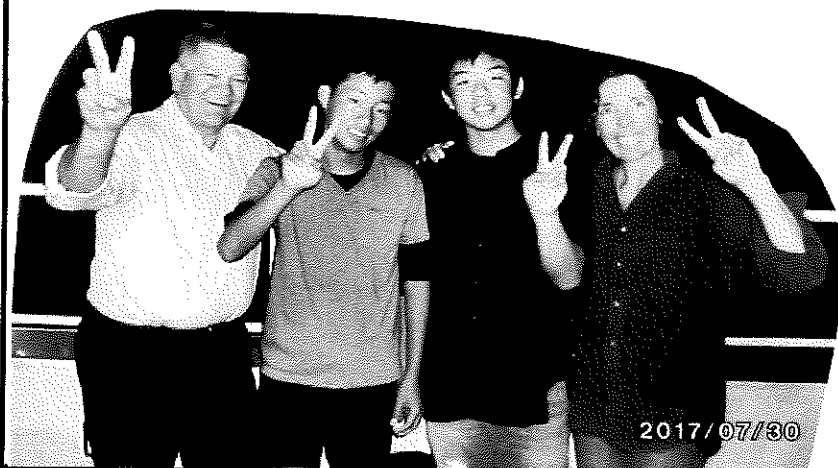
3日 自家用の舟船でセーリングをした。

お土産をとても気に入ってくれてうれしかった。

Dulwich High school

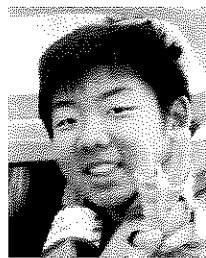
☆バティはモエカ
→日本語がとてつもない上手

おにぎりづくりに
がっか節が大好き
でおにぎりの中に
大量に入れていた。



おにぎり大使の事業を 終えて

渡波中学校 日野匠太郎



私はおにぎり大使の事業で楽しかったことが二つあります。

一つ目は市内見学です。中でもオペラハウスとハーバーブリッジが一つに見える場所がとてもきれいで感動しました。

二つ目はホームステイです。私たちのホームステイした家はとても大きな家で自分の馬やセーリング用の船を持っているとお金持ちの家でした。馬の掃除やセーリングにも連れて行ってもらい、シドニーを満喫できた三日間でした。ホームステイ先の家族はみんなとても良い人で、僕の不慣れた英語も理解してくれてとてもうれしかったです。

最後に、今回、おにぎり大使としてみんなと集まれて、とても楽しかったし、オーストラリアでも各自良い体験ができたと思うので、これからの生活でも学んだことを忘れずに頑張りたいです。

個人行動目標	達成度
班王の人達を笑顔にする!!	100%

ONIGIRI AMBASSADOR

~ Home stay ~



父: ティムさん
→ 初めて会った時は少し怖かったけど
家族想いの優しいお父さん!!

母: カーラさん
→ 僕達にとっても優しく接してくれました!!
料理が上手

娘: アーリア
→ 高いのま姉さん!!
馬術を習っている。

7/28: 対面後おにぎりの飼育場へ!!
掃除を終えた後は
シドニーの夜景をみた!

7/29: アーリアの馬術大会の様子!!
犬の散歩が一番よかった...
夜にはおにぎりをつくった。
わかぬが好評だった!!

7/30: お別れの日。朝から
セーリングに決まっていたら
海の風が気持ち良かった!!

~ Sightseeing ~

シドニーの観光名所へたくさん行った!
中でもハーバーブリッジとオペラハウスの
迫力がすごかった!

タロニが動物園でみたゴアラヤ

カニガール、エミューなど
初めてみた! 檻の中にはいなか
がぶら下がっていた!!



- 感想 -
なれない事や分からぬ事が沢山あったけど
自分で何事にもチャレンジする気持ちが
芽生えた。これから学んだ事を忘れずに
頑張りたいです。

オーストラリア

1 Week

女川中学校 山本 彩乃



私は今回のおにぎり大使で学んだことが三つあります。

一つ目は、協力

です。周りの人は全く知らない人達で四回の研修の中でお互いを知り事業を成功させる。オーストラリアで英会話をするのも目的ですが私的にはこれが一番の目的だと思っております。

二つ目は、会話です。もうあっちに行ってしまうえばALL ENGLISHです。私はあまり話せませんが英会話は大好きだったので、どこかで会ったら必ず声をかけたなりホームステイ先でも「UNOしようー」と声をかけて十時過ぎまでやってみました。勝ちました。

三つ目は、経験です。学生の時に外国にいけるなんて滅多にないことです。そのチャンスを私たちはものにしました。Australiaで体験したこと、感じたこと、見たことを忘れずこれからの将来に生かしたいです。

最後に、次の人達が私たちのような最高の研修になると良いです。

<p>個人行動目標</p> <p>1週間 みんなと楽しく過ごす</p>	<p>達成度</p>
-------------------------------------	------------

おにぎり大使 in Australia

HOME STAY

- キャロライン (母)
- ケビン (父) UNO (妹)
- キラ (妹)
- ユートニー (妹)

おにぎり 毎日食べて
海へも 持って行って
おにぎり UNO (妹)

DULWICH HIGH SCHOOL

おにぎり - アツキ

リハビリの作業と
友達にあげた
あつきのオムレツ
面白かった!!
アイス美味しかった
あつきの開き

SIGHTSEEING in SYDNEY

ミッドランドポイント
ロンガ動物園
ロンガ地区
ボンダイビーチ
シドニー - マー
オハラハウス

I was HAPPY!!

おにぎり大使派遣事業を 終えて

飯野川中学校 戸 真



私は、このおにぎり大使派遣事業に参加して、異文化の体験や交流をたくさん積むことができました。

自分にとって一番印象に残っていることは、ホストファミリーとの交流です。バーベキューでは、まったく知らない肉や野菜などが出てきて少し不安でしたがとてもおもしろかったです。

ビーチでは、ホストファミリーと一緒にフットボールやフリスビーをやりました。

ホストファミリーのみなさんはとても優しく明るい人達で、私達にわかりやすい英語で話してくれました。ホストファミリーのおかげで楽しいホームステイをすることができてとてもうれしかったです。

オーストラリアの市内見学では何もかもがでかくて泣けるぐらい感動しました。

この事前研修やオーストラリア研修を通してかなり英語の力はついたと思うし、おにぎり大使で出会った仲間達との仲も深まったと思います。

このような研修が出来たのは、引率の先生や行政組合の方、そして家族のおかげだと思います。このオーストラリアの経験を生かして今後の将来に向かって頑張りたいと思います。

研修で出会ったみなさん本当にありがとうございました。

個人行動目標	達成度
日本の文化をしっかりと伝える!	70% 11343 おにぎり大使

ONIGIRI AMBASSADOR in 2017 Home stay

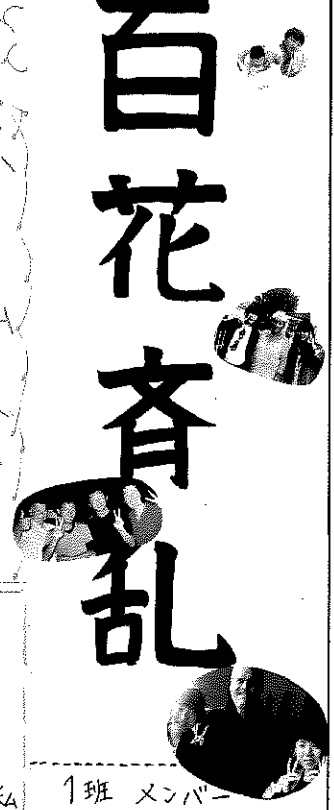
- 1日目 ... ホストファミリーと一緒にケンブリッジに行き肉を食べ、おにぎりを作りました
- 2日目 ... ホストファミリーの子供のサッカーを見に行った。その他に海へ行った。
- 3日目 ... 朝にバーベキューをし、昼に釣りに行き、夜にはパーティーをしました

ダレウイツキハイスクールの子供たち



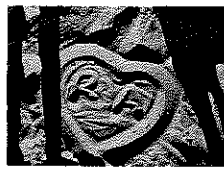


百花育乱



ホームステイ

一日目は、ホストファミリーの車に乗って家に着く前にオーストラリアの風景を堪能。その後は、父が家に帰って子供達とお話をしたり、お風呂に入ったり、お話をしたり。その間ホストファミリーが宿を焼いてくれたので、とてもおいしかったです。その後は風呂に入ったり、お話をしたり。二日目は、ホストファミリーの子供達とサッカーを見に行ったり、お話をしたり。その後は、お話をしたり。三日目は、湖に連れて行って、お話をしたり。その後は、お話をしたり。最後の最後にホストファミリーの思い出を振り返ることにしました。



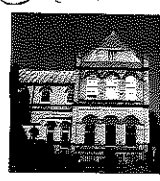
三日目は、湖に連れて行って、お話をしたり。その後は、お話をしたり。最後の最後にホストファミリーの思い出を振り返ることにしました。



学校訪問

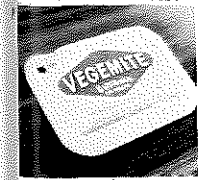
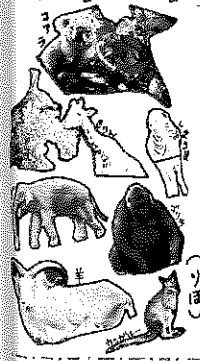
In Dulwich H.S.

私たちは、研修三日目の地元公立高校であるダルウィッチハイスクールの訪問をしました。最初は、それをパティと対面し、「ニンゲター」を体験しました。これは日本にない習慣なので、とても新鮮でした。その後は、ゲームをしたり、授業を体験したりしました。その次に、パティと一緒にお話をしたりしました。ユニークな形のお話をしたりしました。お昼は、お話をしたり。ミートパティを食べました。みんなお話しと食べていました。文化の違いがとても興味深かったです。(重子)



TARONGA ZOO

タロンガ動物園に参りました。四千匹以上の動物の映画を見たり、動物の生きた様子を見たり、カモノハシを飼育しています。雨にも負けず、楽しめました。私たちが行った日は、雨が降っていましたが、いろいろなイベントを見ることができました。



This is VEGEMITE



VEGEMITEとは？と疑問に思っただけですが、オーストラリアではオーストラリアで生産された、ビタミンB12を多く含んでいます。色は黒く、味は苦いです。日本ではあまりなじみませんが、オーストラリアでは、パンやトーストに塗って食べられています。日本ではあまりなじみませんが、オーストラリアでは、パンやトーストに塗って食べられています。

- 1班メンバー
- 鈴木 実
 - 藤原 実
 - 遠坂 日
 - 阿部 相海
 - 羽根 知哉
 - 橋本 野
 - 山本 相海
 - 金子 咲
 - 乃子 咲



SoftSang in SYDNEY

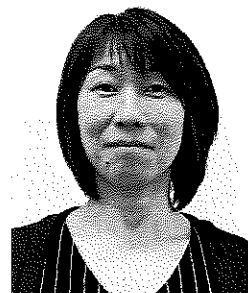
SoftSang in SYDNEY

世界の名産品を味わおう

ソフトソングは、オーストラリアの名産品です。その味は、独特で、とてもおいしいです。ぜひ、お試しください。

ソフトソングは、オーストラリアの名産品です。その味は、独特で、とてもおいしいです。ぜひ、お試しください。

「縁を感じて・・・」



石巻市立青葉中学校
教諭 吉田 尚美

「感謝」
この、おにぎり大使派遣事業に引率者として携わらせていただき、強く感じていることです。

六月。本事業に関わる方々や、おにぎり大使として参加する三十二名との出会い。全く知らない方々と研修を進めていくことの心細さや、自分でできることはあるのだろうかという不安の中始まった第一回引率者会議。しかし、この出会いは偶然ではなく必然であり、縁あってつながった仲間だと感じることができました。話をしてみると、引率者や石巻地区広域行政事務組合の方一人一人と何かしらの接点がある。不思議な縁を感じ、心強さと使命感をもって、三十二名との出会いを迎えることができました。子どもたちも同じような気持ちをもっていったと思います。初めから打ち解けて会話が弾んでいる子もいれば、自分から声を掛けずにひっそり

りとしている子も。不安や負担を感じていたのかもしれない。「志をもって参加しているはずなのに・・・」と、正直、心配になる様子も見られました。ところが、さすがは選ばれし三十二名の大使たち。事前研修の回を重ねるごとに笑顔が増え、ソーランもホストファミリーへの手紙も時間内にばっちり仕上げられる底力を見せてくれました。さらに頼もしさを感じたのは、現地研修の七日間。バスの中で急速に互いの距離を縮め、仲を深める団員たち。現地ガイドのミチコさんとの会話（ミチコさんのコミュニケーションのすごさも！）、ダルウィッチハイスクールのバディとの交流。あつという間に打ち解け、関わり、会話し、言葉の壁を乗り越えて笑顔で交流を深めている姿に驚き、感心するとともに、「自分も負けてい



▲羽田空港にて（2班）

られない。積極的にコミュニケーションをとってみよう」と、子どもたちの姿勢に学ぶことができました。中でも大きな変化（成長）を感じたのは、ホームステイから戻ってきた子どもたちの姿です。ホストファミリーのために積極的に席を用意する子、ホストファミリーの子どもたちと遊んであげる子、自分の家族のように会話する子などなど。その表情は自信に満ちあふれ、輝いていました。ホストファミリーの方やガイドのミチコさんからも、数々のお褒めの言葉をいただきました。また、「現地の炊飯器で炊くご飯は失敗して当たり前」と引き継ぎの際に言われていましたが、「とてもおいしかった。」「今度うちで子どもたちに作ります。」という声をたくさん聞くことができ、子どもたちの努力が実を結び、おにぎり大使としての使命をしっかりと果たせたのだと、大変うれしく思いました。（アクシデントに見舞われて残念ながら失敗したところもあったようですが）事後研修も、結束の強まった子どもたちのパワーで、適材適所の役割分担がなされ、工夫の詰まった新聞を完成させることができました。お互いの持ち味を生かしつつ、しっかりと意見を言い合える関係ができたのも、大きな収穫だったと感じます。日本とオーストラリア

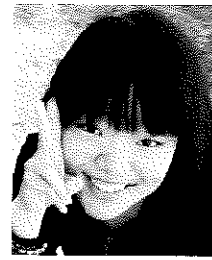
との文化交流を成し遂げ、更に、相手を思いやることや互いの良さを認め合うこと、協力して目標を達成する力を培った、三十二名の大使たち。この縁を、次なる目標を達成する力につなげ、活躍してくれることを楽しみにしています。私も、今回出会った石巻地区広域行政事務組合の皆様、引率の先生方、我妻さん、今野さん、そして三十二名の素敵な子どもたちとの縁を大切に、勇往邁進していきたいと思えます。本当にありがとうございました。



▲お別れパーティー会場にて

おにぎり大使派遣事業に 参加して

桃生中学校 鈴木聡帆理



今回のおにぎり

大使派遣事業では、異国の文化に実際にふれ、貴重な体験がたくさん

できました。七日間という短い期間でしたが、現地の人達と交流するなど、充実した時間が過ごせました。中でもホームステイをした三日間はオーストラリアの生活を肌で感じる事ができて、特に思い出に残っています。

私達を受け入れてくれたのは三人の子供がいるシングルマザーの家庭でした。当然のことですがホームステイでは日本語を話せるのは自分達二人だけで、とても緊張しました。しかし、自分達がどうにか伝えようとする事で相手も理解しようとしてくれて、意味が通じた時はとても嬉しかったです。

私はこの派遣事業でたくさんのお話を学び、体験することができました。今度はこの経験を将来に生かしていきたいと思えます。

個人行動目標 「Thank you」と「Sorry」をしっかりと言う。	達成度 60%
--	------------

おにぎり AMBASSADOR

<Host family>

マザーのキムさん
いろいろなお所につれていってくれる優しいマザーです。

長男
クリスチャン
ソフトボールをやってます。
友達がたくさんいます。

次女タイラー
おしゃべりとおえかきが好きなお木子です。

<ダレウイチハイスクール>

私のパーティは Hannah という女の子とててもやさしい子でした。他にもキラという日本語が話せる女の子や、そっくりの双子の男の子とも仲良くなりました。

<Home stay>

1日目
・ホストファミリーと会って、おうちに行きました。
・おみやげをわたして、とても喜んでもらえうれしかったです。

2日目
・ジャイトとクリスチャンの試合をみにいきました。
・ジョブリングと海に行きました。
・夜、おにぎりをつくりました。

3日目
・2日目とは別のジョブリングと海にいきました。
・さよならパーティーがあって、ホストファミリーと別れました。

<感想>

この7日間で、ホストファミリーやパーティや、その友達など、たくさんの方と交流し、たくさんのお話を体験しました。今回のことを、自分の将来への成長につなげられたらと思います。

おにぎり大使派遣事業を ふり返つて

渡波中学校 新妻みずき



オーストラリアではたくさんのお話を学び、すばらしい思い出をつくることができました。

オーストラリアでは、現地の人たちがとても温かく、たくさんの人とコミュニケーションをとることができました。

オーストラリアの良いところやきれいな海を見ることができ、とても楽しかったです。

ホームステイ先では、ホストファミリーが積極的に話しかけてくれたり、おにぎりを作って食べてもらったりと充実した時間を過ごしました。

ダルウィッチハイスクールのバディとは連絡先を交換し、現在も交流が続いています。再会までには、スムーズに自分の気持ちを伝えられるように英会話力をみがく努力をしたいと思います。

私が、この派遣事業を通して学んだ事は、話す言葉が違っても伝えたい気持ちがあればどんなことも伝わるといことです。このような貴重な体験をさせてもらったことに感謝し、自分の進路へ役立てていきたいです。

個人行動目標	達成度
副リーダーとしてリーダーを支え、オーストラリアの文化や英語を学ぶ!!	100%

ONIGIRI AMBASSADARS

~ Home Stay ~

- ♥ Most mother → Kim
- ☆ Daught → christian
- ☺ Son → Jade & Taylor

TARONGA ZOO

見学に行った日が大雨で、友達とかがばを着ながら皆で動物たちを見に行ったことを覚えています。コアラやカモハシ、カオレを見ることができました。コアラが毛ふもふしていてとてもかわいいかったです。

ホームステイでは、たくさんのおい出ができました。ホストファミリーは色々な海に連れていかれたり、エドニーの良さを教えてくれました。子供たちは、とても明るくよく笑子のTailorちゃんとは遊びました。最初は緊張して自分から話せませんでしたが、だんだんとお喋りできて最後には自分から話しかけることができました。もっと英語を勉強したいと思いました。

Dulwith High School

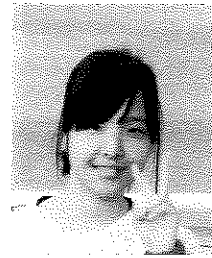
学校ではバディのキークアマンと一緒に行動しました。他にも一緒におにぎりを作ったり遊んだりしました。キークアマンは日本語が上手でたくさん話せることができました。私も皆のようにハローハロー英語を話せるように頑張って英語勉強をしようと思います。とても楽しい時間を過ごさせて幸せでした。日本では友達や学校の先生などにお話したいです。

感想

7日間を終え、私は素晴らしい体験をすることができました。学校訪問やホームステイではおにぎり作りや、Vlog作りなど様々な場面で頑張ることができました。皆とともに英語で話せるようにしたいと思いました。日本では英語が話せるようになりたいです。

学んだこと

女川中学校 鈴木 愛実



今回のおにぎり
大使派遣事業で私
はたくさんのこと
を学びました。

その中でも特に

重要だと思ったのは、積極性です。ホーム
ステイの時も、学校訪問の時も、相手から
話しかけられるのを待つのではなく、自分
から積極的に話しかければ相手も会話をし
ようとしてくれました。一方、英語で何と
いうか分からない時もたくさんあり、悔し
い思いもしました。ですが、バディやホス
トファミリーの方々には理解しようとして一生涯
命私の話を傾けてくれ、たくさんさんの人
の優しさも感じる事ができました。

この事業のおかげで、ほんやりとしてい
た私の夢も、少し形が見えてきました。そ
の夢をもっとはつきりさせるためにも、今
回学んだことを生かし今まで以上に英語の
勉強を頑張りたいです。

最後に、最高の研修にしてくれた先生方、
団員のみんな、旅行会社の方、親に、本当
に感謝しています。本当にありがとうございました。

<p>個人行動目標 班や団員のみんなと協力しな がら積極的に活動する</p>	<p>達成度 100%</p>
--	---------------------

Dulwich High School



アリエルが
くれた
おにぎり

ONIGIRI AMBASSADOR

ホストファミリーの3人は、優しく、面白
楽しい家族でした。

DAY 1
おみやげをわけて
一緒に、ふるごハン！
マヤさんと、仲良くお水
ました。

DAY 2
朝からアイス玉、
ソーダ、おにぎり、
プクリ！ティーには
いとこや、祖母
も来てくれました！

DAY 3
一緒にビーチへ行ったり
公園へ行ったり...
英語版のアサギを見たり！
最後のティーは、アサギ
たいど、楽しい時間
でした！

HOME STAY

MS. MAYA
Mrs. Lynette
Mr. Alexander



Arielle →

初めて英語を話す人と
1対1にはり-とても
緊張していましたが、
アリエルが話しかけて
くれて、とてもたのしかったです。
昼休みに、アリエルの友達と
アイスを食べたり、ミートパイを
食べたり、たのしかったです！！

オペラハウスに、
大聖堂、シドニータワーも！
どこに行っても
空気がキレイで、
眺めもよくて、最高
でした！！

たくさんおにぎり
くれました。

おにぎり大使派遣事業に 参加して

住吉中学校 小松 結彩



私はこの事業に参加し、日本では経験できない貴重な体験をして自分の夢へのヒントを得ることができました。それは「学ぶ」ということです。普段私たちは何気なく学校へ行き勉強をしています。今回海外へ行ったことで学ぶことの楽しさ、学ぶことの大切さを改めて知ることができました。

今回の事業で改めて知れたことを忘れずにこれからの生活に生かし夢の実現に向け、たくさんのお話を学んでいきたいです。私には、今回の事業の中で新しい目標ができました。それは「海外で生活できるほどの英語力を身に付ける」ということです。この目標が達成できたら、もう一度オーストラリアへ行き、バディやホストファミリーに会いに行きたいと思っています。最後に、このような貴重な体験ができたのはたくさんの方々の支えがあったからです。本当にありがとうございました。

個人行動目標 たくさんのお話を学んで自分の夢へのヒントを得たいです！	達成度 100%	たくさんのお話を学んで自分の夢へのヒントを得たいです！
---------------------------------------	-------------	-----------------------------

ONIGIRI AMBASSADOR

HOME STAY

1day ・ホストファミリーと対面！1人1軒の家を訪問。
夜にはおみやげを渡し日本語を学ぶ。

2day ・水族館美術館、そしてビーチに連れていかれておみやげをもらって帰国。夜にはおみやげを渡し日本語を学ぶ。

3day ・朝は教会へ。和食を食べておみやげをもらって帰国。夜にはおみやげを渡し日本語を学ぶ。

Father → Merrick
～家族がよい！うれしい！～

Mother → Tracey
～おみやげがよい！うれしい！～

Sister → Gophie
～おみやげがよい！うれしい！～

→ Isabelle
～おみやげがよい！うれしい！～

Sight Seeing

おみやげをもらって帰国。夜にはおみやげを渡し日本語を学ぶ。

Dulwich High School

和食を食べておみやげをもらって帰国。夜にはおみやげを渡し日本語を学ぶ。

感想

和食を食べておみやげをもらって帰国。夜にはおみやげを渡し日本語を学ぶ。

おにぎり大使派遣事業に 参加して

河北中学校 佐々木葉月



私は、今回のおにぎり大使派遣事業を通して、とても貴重な体験をすることができました。

私は、初めての海外で英語が通じるか、不安でいっぱいでした。ですが、そんな私をホストファミリーやバディが、優しく迎え入れてくれました。そのおかげで、初めてのオーストラリアも、あまり苦にはなりません。オーストラリアの市内も、見る物すべてが美しく感動しました。

この研修に参加するかすごく悩んでいましたが、今になってみれば、本当に参加して良かったと思います。この研修で、自分の英語力や積極性がスキルアップできたからです。

今回、豪州の地で学んだものを将来にも生かせるようにしていきたいです。この機会を与え、背中を押して下さった先生方、家族、班のみんな、引率の先生方に感謝しています。

本当にありがとうございました。

個人行動目標	達成度
みんなと協力して、積極的にコミュニケーションをとる。自分の英語力を上げる。	積極的に話しかけたから!! 100%!!

ONIGIRI in Australia AMBASSADOR

Home Stay

Host family

Father → Alex

面白くて、私達を気づかってくれる優しい人!!

Mother → Lynettle

料理が上手でとっても美人!!

Daughter → Maya

活発でお姫様とピョンクが大好きな3歳の女の子!!



Day 1

不安なままホームステイ先に行く。Lynettleがリラックしてていいよとあってくれて、とても安心しました。マヤの元気の良さに驚きました。笑

Day 2

朝には、しゃぼん玉で遊び。その後ピョンクに連れて行ってもらいました。お昼にはおにぎりづくりをして、おいしいと食べてもらえました。夕食にはおいしいおばあさん、このセバスケンも来て、ステーキを食べました。とても充実した1日でした!

Day 3

朝食を食べた後、ビーチと公園に連れて行ってもらいました。ビーチはとっても広く、きれいでした! 昼食を食べた後は、アノ雪の映画を見て、とても有意義な時間を過ごすことができました!!

学校訪問



私のバディはマリムという歌とサッカーが好きな女の子でした。頑張り、日本語で話しかけてくれて、自分も英語を頑張りなさいなと思いました。ピョンクティーはとっても楽しかったです♪

おにぎり大使派遣事業を 終えて

湊中学校 蜂谷 昭人



僕はおにぎり大使派遣事業に向けて、計四回の研修を行いました。その中で感じてい

たことは、不安でした。会話が通じるか、ルールに慣れていけるかなど、考えたらキリがありませんでした。

そんな思いを持ちながら、七月二十六日に僕はオーストラリアに行きました。現地に着いて、一番に感じたことは、路上駐車車の多さです。日本では法律などで罰金される路上駐車が、向こうではあたりまえで、とてもゆつくりした国なのだなと思えました。もう一つ気になったのは信号です。オーストラリアでは、青から赤の点滅になり赤になります。これは、こうしないと現地の人達が急がないからだそうです。日本と全然違ってました。

帰ってから考えると、オーストラリアは時間がゆつくり流れているようにみんなゆつたりしていました。日本にはないこのゆつたり感を味わえて、とても楽しく、思い出に残る研修でした。

個人行動目標

自分から積極的にコミュニケーション

達成度

75%

石開修を終えて

この石開修は、僕の初めての海外旅行でした。右を見ても左を見ても英語ばかりで、どうなるのか不安でした。でもバディと会ってホストファミリーの人達に優しくしてもらって、とても楽しい石開修になりました。この経験金を、いつかどこかで生かしたいと思います。

1日目

- ・オペラハウス
- ・マッエリーニポイント
- ・オーストラリアミュージアム

2日目

- ・シドニータワー
- ・タロンガ動物園

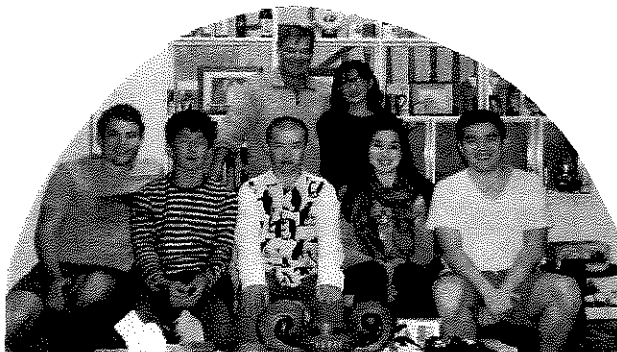
一番驚いたのは、オペラハウスの屋根が真っ白じゃなかったこと。最後のタロンガ動物園は、雨がひどくて大変でしたけど、コアラもカンガルーも見れたので満足です。

学校見学

タリンウチハイスケルではバディのモーガンと一緒におにぎりをつくったり、授業を受けたりしました。とても明るく面白い人でした。

バディのモーガン

ホストファミリー
みんな、優しくとてもいい人達ばかりでした。また会いたいです。



オーストラリアの7日間

矢本第一中学校 菅原 歌一



オーストラリア
で過ごした一週間
はとても充実して
いて、戸惑うこと
もありましたが毎

日が楽しい日々でした。一番心に残っている事はホームステイと学校訪問をしたことです。

まずホームステイ先のご家族は五人いらっしゃいました。初めは、英語が聞きとれず話せずで大変でしたが、蜂谷君と協力しながらだんだんと会話ができるようになっていき楽しいホームステイになりました。次に、学校訪問ではバディを組みました。現地の方は同じ年だと言うのに背が高く中学生とは思えないくらい大人っぽくてとても親切でした。短い時間ではありましたが、一緒におにぎりを作ったり、英語で会話したりしてとても貴重な体験となりました。

僕は今回オーストラリアへ行き、成長して帰ってくる事ができました。この経験を生かして今後も成長していきたいと思えます。

個人行動目標

積極的にコミュニケーションをとる

達成度

100%達成

オーストラリアの7日間

フアッワー

ホームステイ



1日目 なかなか会話が通じずたいへんでした。

2日目 海を見たりおみやげを買ったりしました。

3日目 ラグビーの試合を見ました。お別れレターはさびしかったけど感謝してまなりました。

感想

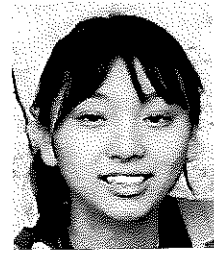
この7日間でした。友達かできておかげでこの事もたくさんあってとても充実した7日間でした。先生やお父さんお母さんに感謝したいと思います。

とても親切で背が高くイケメンでとてもいい人でした。楽しかったです。



おにぎり大使派遣事業に 参加して

鳴瀬未来中学校 菊池 蘭



私は、おにぎり大使派遣事業に参加して、多くのことを学び、とても貴重な経験をする

ことができました。特にホームステイが印象に残っています。

初めは、英語で上手にコミュニケーションをとれるか不安で一杯でしたが、ホストファミリーの方々が温かく迎え入れてくださり、楽しく日々を過ごすことができました。一日目の夕食のときには何を言っているのか全く分かりませんでした。日を追うごとに聞き取れる量が増え、最終日にはなんとなくですが分かるようになりました。二日目の夜に作ったおにぎりを喜んで食べてもらえて嬉しかったです。そして改めて一生懸命気持ちを伝えることの大切さを感じました。

最後に、このような機会を与えてくださった校長先生、先生方、組合の皆様、支えてくれた家族に感謝し、今後の自分の成長に繋がりたいです。本当にありがとうございました。

個人行動目標

英語で積極的に多くの人とコミュニケーションをとる

達成度

80%

ONIGIRI AMBASSADOR

In Australia 2017

Home Stay

7/28 ホストファミリーと対面
庭も広く、奥にはプールもある大豪邸!

7/29 水族館やビーチ、フェリーにも乗せてもらい、ドライブもとても楽しかったです
夕食のおにぎりも喜んでくれた!

7/30 教会で礼拝したあとビーチへビーチでお城を作りました!
充実したホームステイでした!!

Host Family

父: Merrick (44) 長女: Sophie (5)
母: Tracey (38) 次女: Isabelle (3)



Dulwich High School

私のバティは昨年、中国からオーストラリアに来たばかり。「英語は苦手」というか、私より断然上手...orz.
美術の授業を体験してとても仲が深まったと思います。
小さいおにぎりを2人で一杯作りました!

Nevida yu
16歳



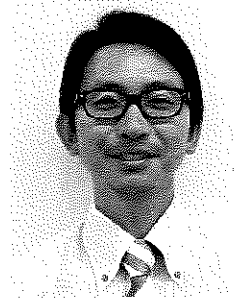
Sightseeing

オペラハウスを真近で見えました。思っていたよりとても大きくてびっくりしました。楽しみにしていたクワン動物園は生憎の雨...。そして開始早々迷子になり、疲れました。でも、コアラを生で見ることかできて良かったです。

感想

初めての海外でとても不安でしたが、皆が優しくしてくれて、楽しい研修でした。将来また機会があれば行きたいです。

「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻市立湊中学校
教諭 岡 拓 真

はじめに、本事業への参加の機会を与えてくださった、勤務校の校長先生、石巻地区広域行政事務組合の皆様、東武トップツアーズのお二人、共に引率として参加した三人の先生方、本事業に関わる全ての皆様に、深く感謝申し上げます。

本事業にかかる費用は、団員全員で1000万円を超えます。生徒のみならず、引率を含めた一人一人に、30万円以上の予算が使われています。私は、あえて、この具体的な金額を意識することが、「おにぎり大使」としての使命の始まりであると考えました。

「おにぎり大使」としての海外研修は、一般的な中学校生活では、決して体験する事のできない貴重なものです。その背景にある様々な人の思いや願い、そして、それを支える費用を知る事は、自分の使命の「重み」を理解することになると思うのです。これは、引率者としても同じです。

本事業での経験を、今後の教師人生に生かす事も、自分の使命であると考えました。

私が担当したのは、文化交流の内容としての、「南中ソーラン」の指導です。文化交流の出し物については、引率者会議の中でも毎年議論になるそうです。しかし、多くの生徒が知っている点、練習日程、異文化交流という視点から見ても、やはりソーランの演舞がベストだと思います。

YOSAKOIソーランは、歴史としてはごく浅いものですが、極めて日本的な文化です。実際にソーランを海外で公演している方に聞くと、上体を低くした動きや、「静」と「動」が入り交じった踊りは、世界的にも珍しく、多くの人が興味を持って見てくださるそうです。

研修では、三回のソーラン演舞（壮行会、学校訪問、ホームステイ後の



▲シドニータワーにて

パーティー）があります。石巻、引いては日本を代表して行うものから、手を抜く事はできません。しかし、団員は様々います。中には、体を動かす事を苦手としている生徒、踊り自体が好きではない子もいます。そんな生徒を含めて、全員が「本気」になるには、やはり、本事業の「目的」や、「おにぎり大使」としての意味や価値を意識する必要があると思うのです。だからこそ、引率者である私自身も、本事業にかかる費用や、歴史、企画に込められた思いを意識し、それを生徒に語りました。

最初のソーラン発表は、各団員が所属する校長先生方、各市町教育長、保護者を前にしての壮行会でした。声や動きの大きさ、発表に臨む姿勢など、団員は素晴らしい姿を見せてくれました。

しかし、研修三日目のダルウィッチハイスクールでの発表は、国が違えば、いえ同世代の中学生の前で、みんなの動きは硬く、恥ずかしさが見えるものでした。

研修五日目、ホームステイを終えた生徒は、全ホストファミリーを招待してのパーティーで最後のソーランを披露します。ここで私は、もう一度、「おにぎり大使」の目的や、ソーランを披露する意味を語りました。生徒の中には、なぜそこまでしてソーランを本気で踊らなければならぬのか、と思う子もいたかも知れません。しかし、ここで生徒に阿って、

言うべき事を言わずしては、引率者としての使命も果たさない事になります。

かくして、三日目のソーラン発表も素晴らしいものとなり、ホストファミリーの皆さんにも、「とても良かった」との感想を頂きました。

中学生という多感な時期に、一週間海外での生活を体験するという事は、大変大きな意味を持ちます。団員それぞれの人生、そして「生き方」に、今回の経験を落とし込んで行って欲しいと、心から願っています。

私自身も、今回の経験を生かし、教師として広い視野を持って生徒と向き合います。生徒同様、私もまた「おにぎり大使」です。

事前研修を含めた二ヶ月間、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。



▲空港にて（3班）

おにぎり大使派遣事業に 参加して

住吉中学校 阿部 龍詔



僕は今回の派遣事業でたくさんの方を学びました。その中でも一番の経験が英語での

コミュニケーションです。学校の授業や研修でも英会話の練習はしていたのですが、相手に伝わるかとても不安でした。三日目からのホームステイはホストファミリーに積極的に話かけていくと意外にも自分の気持ちが相手に伝わっていき驚きました。自分が「伝えたい」と強く願えばしっかり相手に届く事に感動しました。また初めての飛行機、海外での生活、ハンバーガーの大きさや水の使用量の違いなどたくさん事を学びました。

おにぎり大使での経験をこれからの自分への糧として自分の人生につなげていきたいと思っています。

最後に僕がこの事業に参加できたのは地域の方々、先生方や親のおかげです、そのことに心から感謝しています。本当にありがとうございました。

個人行動目標 *班長としてみんなをまとめ
最高の派遣事業とする*

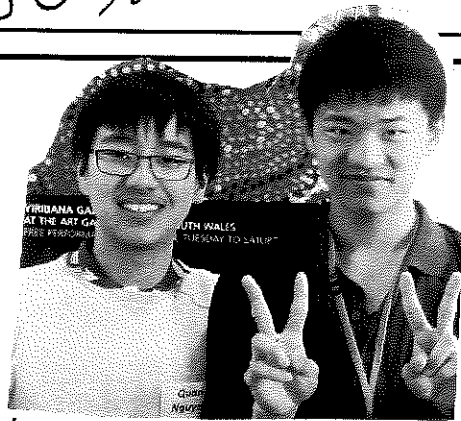
達成度

80%

ONIGIRI 新聞

- Dulwich High School -

学校訪問で僕はバティを Quark 君と組みました。
僕の下手な英語を一所懸命に理解しようとしてくれた。
おにぎり作りではしっかり作り方を伝えることができ
喜んでくれてよかった。最後まで僕の世話をしてくれて
お別れする時までずっとニコニコ笑顔で仲良くなった。
- ホームステイ -
父 - Peter さん
母 - Sharon さん
息子 - Liam, Jye 君



1日目 学校訪問終了後、ビーチにホームステイ先のシャロンさんが迎えに来てくれてやさしく出迎えてくれました。夜ごはんはハンバーグ。とてもおいしい、のんびり。
2日目 8:30に起き朝食を食べ、大きなビーチドライブに行きラグビーの体験をしました。(Liam君、めっちゃ楽しかった)夜はマリカートをしておもひました。(大和くんすごい上手でした)
3日目 朝ドライブをしてビーチに連れて行ってもらいました。すごくキレイ! 昼食はフッシュボード

ビアスで仲良くランチ。その後 Liam 君の試合(ラグビー)の応援をしました。物はさよならパーティー。幸中ソーランをとってモカッよかったですと言ってくれました。すごく楽しかった!

おにぎりの事しっかり伝えられた?

おにぎりをお寿司と勘違いしてたことにおどろき!!

出会うの大切さを学んだ 5日間

青葉中学校 三浦ひかる



待ちに待った念願のオーストラリア。初めてオーストラリアの地に足を踏み入れた時、

そこで見た人々、飛び交う英語、匂い、景色。全てが私の胸を高鳴らせ、興奮を抑えきれなかったことを覚えています。今振り返っても、私がオーストラリアで過ごした五日間は数えきれない人との出会いに溢れ、とても有意義なものでした。

ホームステイでは、ビーチに連れてってもらった時、ホストファーザーとマザーに「こんなに美しいところへ連れて来てくれてありがとう。」と伝えると、二人はとても笑顔で喜んでくれました。

この経験を通して、海外でも相手にどんなにささいな事でも感謝を伝えることは重要だということを再確認出来ました。また、私の大好きな言葉「一期一会」をずっとずっと大事にしようと思いました。このような貴重な体験ができたのは、周りの方々の協力のおかげです。本当にありがとうございます！

個人行動目標

チャレンジ精神を持ち、たくさん感謝を伝える！



達成度

100%

Australia trip!

2017 K O A L A

HOMESTAY	HIGHSCHOOL
Dady: Mark	YOW(ヨウ)
Mom: Thu	ヨウはすっごくいたずら好きで、天真爛漫で
Child: Minh	私と波長が合う感じで楽しかった。また会う！絶対！

3人とモ笑顔がステキで
すっごくあたたかい家族！

1日は夜のビーチ、
2日は昼間のビーチとショッピング！
3日は教会へ。離れるのがつらかったです。もう会いに行きたい。大好き！




おにぎり大使に参加して

北上中学校 遠藤 杏美



になりました。

おにぎり大使として活動した一週間は、貴重な経験をたくさんして、私の人生の財産となりました。

最初は自分の英語が伝わるか不安でしたが、ですが現地の方々は熱心に聞いてくれました。私にも分かりやすいように話をしてくれました。もちろん上手く伝わらない時もなくたくさんありましたが、伝えようと頑張れば、ちゃんと伝わる。伝えようとする気持ちが大切なのだと分かりました。だからこそ、話を通じた時はとても嬉しかったです。学校訪問ではバディや他の人達とも交流を深めました。日本語を熱心に勉強している人も多く、時間があつという間に感じる程、楽しく過ごすことができました。ホームステイでは、日本との文化の違いを肌で感じ、知識の幅を広げることができました。全ての活動を通して改めて、海外の文化や英語への関心が高まりました。支えてくださった方々、本当にありがとうございました。

個人行動目標 現地の文化を学び、日本の文化を伝える。 英語を上達させる。	達成度 95%
---	-------------------

ONIGIRI AMBASSADOR in Australia

HOME STAY

ホストファミリー
↳ Mark

ホストマザー
↳ Thu

息子
↳ Minh

<1日目> ホストファミリーが暖かく迎えてくれました。夜ご飯の羊の肉がとっても美味しかったです。

<2日目> ビーチに連れて行ってもらいました。ミンとたくさん遊んで服が水びしょで大変でした。午後にはショッピングについてたくさんおみやげを買いました。

<3日目> 教会にいきました。さよならパーティーでも楽しめました。

Sight Seeing

たくさんの名所を回りました。シドニータワーやオペラハウスがとても印象に残っています。美しい景色もたくさん見ることができて、とても楽しいものになりました。レストランのご飯もおいしかったです。

Dulwich High School

学校訪問では、バディも含め たくさんの人と会話しました。バディのソフィーはとても優しい人で、分かりやすく、たくさんのことを説明してくれました。日本語の勉強も熱心にしていて、会話の中でもそのノートを見せてくれて、会話がいっほずみしました。バディがソフィーで本当に良かったと思います。

name: ソフィー
14才
弟持ち
とても優しい

感想

この派遣事業はとても楽しく充実したものでした。現地の方々は皆さん優しい人が多く、私自身もリラックスして活動することができました。たくさんの経験を通して、英語の関心が高まりました。

たくさんの方と出会い、色々なことを感じました。最初こそ緊張していましたが最後には楽しく幸せな気持ちでいっぱいでした。支えてくださった方々、本当にありがとうございました。

おにぎり大使派遣事業に
参加して

矢本第一中学校 小野寺莉香



出発する前までは、「オーストラリア」と聞いて思いつくことや知っていることは限ら

れていました。カンガルーやコアラなどの珍しい動物がいる。オペラハウスやエアーズロックなど有名な世界遺産がある。これは日本にいても誰もが簡単に知ることができます。だから私はオーストラリアでしかできないことをしたいと思いました。

実際にシドニーの街並みを見ると日本と違うところがたくさんありました。例えばシドニーの住宅は日本に比べると一つ一つが大きくともオシャレです。それに大きいビルもたくさん建っていて都会という感じがしました。しかし、シドニーは緑がたくさんあり中心部にも木々が生い茂っていました。公園なども広く、たくさんあります。「都市と自然が共存」している日本には無いようなとても素敵な街でした。

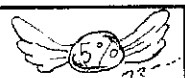
オーストラリアに行った私だから知れたことをいろんな人に広めていきたいです。そしてこの貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

個人行動目標

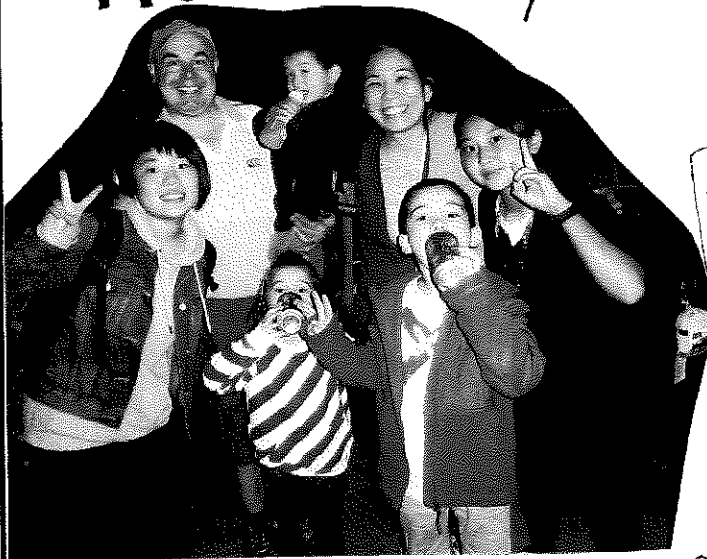
たくさんの人とたくさん話して
たくさん話を聞く

達成度

95%



私 in Australia
Home Stay



ホームステイは半分くらい
子守りでした(笑)

9才、6才、3才の子達と
一緒に家の中を走って
走って遊びました!
良かったことは私達を
年上と認識している
子供達のはやい英語
を少し聞きとれたこと
です!

外人
では
なく

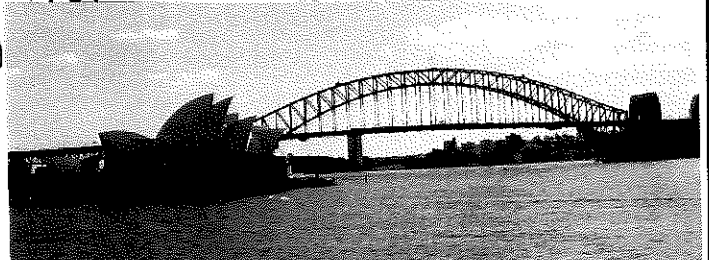
疲れもありましたがとても
楽しかったです!!!

Dulwich
High
School



なんと11才は双子!?
すごく似ていてどっちがど
ちかわからなくなりました(笑)

ミセス・マッコリーズポイントから撮った写真
です! オーストラリアでは素敵な写真がた
くさん撮れたので一生の宝にします!!



Sightseeing

おにぎり大使派遣事業を 終えて

河南西中学校 内海 里麻



私はおにぎり大使派遣事業に参加して、日本では学べない事を学んだりと、たくさんの貴重な経験をする事ができました。

オーストラリアではコミュニケーションを取る事は難しく、初めは何を言っているか分からず理解する所から始まりました。それに対して英語で答えるのにも時間がかかったけれど身につけてきた英語力を生かし、知っている単語や身振り手振りを使い、コミュニケーションを取る事が出来たと思います。

そして現地での活動を通して、事前研修ではあまり話す事になかった他の班の人達と交流を深める事が出来ました。

今回この事業で経験した事、学んだ事を将来に生かしていきたいです。たくさん失敗をして迷惑をかけてしまったけれど、この研修を通して大きく成長する事ができました。

事前研修から今まで、支えてくださった先生方や家族などたくさんの方々々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

<p>個人行動目標 班の皆と仲良くする 現地の人とコミュニケーションを取れるように積極的に話す</p>	<p>達成度 120%</p>
---	---------------------

ONIGIRI ANBASSADOR In Australia
7.26 WED 8.1 TUE

DULWICH HIGH SCHOOL
パティ-はオタリー-
とてもかわいくとても優しい
14歳の同い年の子でした! おにぎり作りをとても楽しんでやってくれました!

1日目と5日目
〜シドニー観光〜
オペラハウス、ハーバードブリッジ、大聖堂、博物館、シドニーター
何処のオーストラリアの名所を見ました
見つけたところまでとび知る事ができました。
5日目はワロンが動物園に行き、コアラやカマウレを見ました!!
とてもかわいかったです。
オーストラリアの海はどこから見てもとてもきれいです!

温かく優しい家族のとても大きい家にホームステイ!

Home Stay ~ Host Family ~

Father ~ Ian
とても優しく、子供思いのパパ!
ご飯がとてもおいしかったです!

Mother ~ Tarm
ベトナム!
ママもとても優しく、一緒にshoppingに行ったりして!!

Son ~ Joseph
9歳の長男
すごくおもしろくておもしろいです!!

Son ~ Jonah
職の次男!
め、とてもかわいかったです
11匹のママが好きなお猫ちゃんでした!

Daughter ~ Jessica
6歳の長女
とてもかわいかったです!
ゆっくりしゃべってくれるから命のけりやあいたピアが上手!!



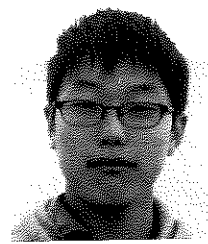







おにぎり大使派遣事業に 参加して

河南東中学校 佐々木大和



オーストラリア

で過ごした七日間
は日本では学べな
いようなことがた
くさんあり、とて
も充実した時間を過ごしました。僕がこの
派遣事業で関心したことが二つありまし
た。

一つ目は、一回目の事前研修です。メイ
ンテーマとサブテーマを決めるとき、みん
なが意見を出し合い、学校での話し合いと
は全然違い、話し合いをするのが初めてお
もしろいと思いました。

二つ目は、三日間のホームステイです。
今まで学校で学んだ英語を使って外国人と
話すのは授業以外であまりないので、少し
戸惑いましたが、一生懸命に自分の気持ち
を伝えるように努力しました。僕の話した
事が伝わったときはとてもうれしかったで
す。

たまたま僕の言ったことが伝わらず、聞き
返えされた事もあったので、これからもつ
と英語力を高められるように勉強します。

<p>個人行動目標</p> <p>現地の人と積極的に話す。</p>	<p>達成度</p> <p>99%</p>
-----------------------------------	-----------------------

🏠 ホームステイ 🏠

Father: Peter さん
 ◦奥さんにバク惚れ。
 ◦とっても優しい。

Mother: Sharon さん
 ◦とっても優しい。
 ◦いっぱい笑う。

Son: Jye & Liam
 ◦ラグビーを二人ともしている。
 ◦二人ともゲーム好き

1日目
 夕食はハンバーガー。
 大きさにびっくり。

2日目
 お土産屋に行ったら、
 ビーチにつれていってもらった。キレイ!
 その後におにぎりを作った。

3日目
 二男の Liam さんのラグビー
 の試合を見学。痛そう。
 その後にさよならパーティー。
 泣きそうになった。

🏠 タロンが動物園
 あいにくの雨。。。
 だけど、フェネックなどの
 動物を見てきた。
 す、ごい広い。迷子に
 なりそう。

おにぎり大使派遣事業に 参加して

蛇田中学校 杉山 耀



おにぎり大使としてオーストラリアに行けることが、とても楽しみです。ワクワクしています。

いきました。初めての飛行機、初めての海外、不安よりも楽しみの方が大きかったです。今回おにぎり大使として、他の中学校の新しい友達がたくさんできました。事前研修を通してどんどん仲良くなり、みんなと一緒にオーストラリアに行けることが待ち遠しかったからです。

ホストファミリーの皆さんも明るく優しい人たちで、こちらが仲良くなりたいたいと思えば思うほど、自然に自分の思いも伝わり、相手の言っていることもわかるようになりました。楽しくあつと言う間の二泊三日でした。

おにぎり大使として有意義な時間を過ごせたことは、自分の宝物になりました。これから、石巻のことをもっと多くの人たちに知ってもらえるように、活動していきます。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

個人行動目標	達成度
たくさんの人と関わり友達になる	100%

ONIGIRI AMBASSADOR in Australia

ホストファミリー



長男ベン
しっかり者のイケメン
スポーツ万能。

父ステファン
銀行員
サッカー大好き。



ボディ ルーク
高身長で運動
神経が良い。
ちょっとシャイ。

母ハネッサ
いつも笑顔で
とても優しい。

長女クロエ
カワイイが
とても負けずらい！
クリケットが上手。

愛犬
ストーミー
茶色の大きい
犬。

YO

ニ男ハリソン
いつも場を和ませる
ムードメーカー。
スケートボード大好き。

ホストファミリーはとても優しく、日本が大好きな家族。ビーチに行ったり、サッカーやバスケットを一緒にしたりした。とても大きくて暖かい家だ。アルがついていたが、シートは冬なので入れなかった。ホストファミリーはおにぎりをすごく気に入ってくれた。



おにぎり大使派遣事業を 終えて

矢本第二中学校 加藤 秀平



僕はこのおにぎり大使派遣事業でたくさんのいい思い出ができました。

僕にとってホームステイは初めての体験でした。ホームステイが始まる前は不安でしたが、ホストファミリーが僕達を温かく迎え入れてくれたので、嬉しかったです。たくさん会話してみんなと仲良くすることができました。ホストファミリーの中で一番一緒に遊んだのは、八歳のハリソンです。一緒にサッカーやバスケットボールをしました。楽しかったです。

最終日には、タロンガ動物園に行きました。雨が降っていて全部の動物を見ることはできなかつたけど、とても楽しかったです。

僕はこのおにぎり大使派遣事業をみんなとできてよかったです。この経験を将来に生かしていきたいと思います。

みなさん、ありがとうございました。

個人行動目標

英語でたくさん話しかけて、交流を深められるように頑張る。

達成度

100%

ONIGIRI AMBASSADOR

ホームステイ

ホストファミリー
父 ステファン
母 ウァネッサ
兄 ベン
姉 クロエ
弟 ハリソン



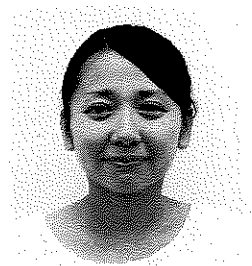
2日目に弟のハリソンのサッカーの試合を見た。その後いっしょにサッカーをして楽しんだ。
3日目にビーチにつれて行ってもらった。とてもきれいだった。

Dulwich High School

僕のバディは17歳のココでした。
お土産を気に入ってくれてうれしかった。



「これからに
繋がるように・・・」



東松島市立矢本第一中学校
教諭 高城 志麻

以前は、「おにぎり大使」と聞くと「オーストラリアでおにぎりを作る」というイメージで、具体的にどのようなことを経験してくるのかを考えるとありませんでした。しかし、今回、おにぎり大使の引率をさせていただき、様々な方々のご支援を受け、今後に繋がる経験を積む貴重な研修であると身をもって感じる事ができました。

まず、どのような子どもたちとこれから活動していくのか期待と不安を抱えながら一回目の研修会が始まりました。実際に、子どもたちと会ってみると私以上に子どもたちが緊張しているのが伝わってきました。しかし、アイスブレイキングなどの活動を通して、次第に子どもたちの笑顔が見え始め、安心しました。また、英語研修の担当として、オーストラリアでの活動にあたり、どのような

ことをすればよいのか悩みました。昨年の引率の先生に話を聞き、「自分のことを英語で伝えられないと始まらない」と感じ、英語で自分や日本のことを話す練習を中心に行いました。どの活動に対しても前向きに一生懸命に取り組む子どもたちの姿から次は何ができるかと考える楽しさを感じるのと同時に、とにかく外国語を使おうとする気持ちを持つことが何よりも大切であることを教えてもらいました。

現地研修では、英語を使わざるを得ない環境がオーストラリアの空港から始まりました。入国する時に止められたり、短い英語ではありながらも、空港の方々の話す流暢な英語に戸惑ったりと子どもたちにとって



▲ダルウィッチハイスクールにて

は困惑する経験だったと思います。シドニー観光では、住宅の大きさや気候、食べ物など様々な違いを実際の目で見て、感じる事ができました。観光の後には、ホームステイでおにぎりを作るための具材の購入にお店に行きました。日本では手軽な価格で購入できるものが倍以上の値段で売られており、驚きました。そして、値段は高くとも自分の国で売られているものが一番安心できると強く感じた時でもありました。学校訪問では、子どもたちはバディと英語でコミュニケーションをとらなくてはいけませんでした。最初は、不安そうな表情をどの子もしていました。バディとのモーニングティーや授業、昼食と一緒の時間を過ごしながら、英語で話すことに徐々に慣れていくようでした。また、英語が伝わった時の喜びや伝わらなくて困った思いが、子どもたちの英語の力を高めているように感じました。

学校訪問が終わる頃には、別れを惜しむほどの関係を築いた子どもたちの力は、本当にすごいと思いました。そして、ホームステイが始まりました。どのような二泊三日を過ごして行くのか子どもたちの話を聞けるのを楽しみにしていました。朝食を作ったことをホストファミリーに喜んでもらったり、おにぎり作りでご飯が

ハプニングでうまく炊けなかったり様々な体験をして、その時々を感じてきたことが、子どもたちを成長させていることが分かりました。

おにぎり大使の研修は終わりましたが、この研修を積むことができた私たちが今回の経験を今後の生活にどう繋げていくかに本当の研修の成果が表れるのではないかと思います。次に今の研修を共にした方々と再会した時に、研修をきっかけとした変化を伝えられるよう意識して生活をしていきたいです。

最後に、このような貴重な研修を支えてくださった石巻地区広域行政事務組合の皆様、関係者の皆様から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



▲羽田空港にて（4班）

おにぎり大使派遣事業に
参加して

山下中学校 片倉 寧々



今回おにぎり大使として過ごした一週間は私にとっても多くの貴重な経験で、大切に

思い出となった一週間でした。

オーストラリアへ行く前は楽しみよりも不安な気持ちでいっぱいでした。ですがオーストラリアの人はみんな優しく、熱心に私の話を聞いてくれて、英語が通じたときは本当に嬉しかったです。

市内観光や学校訪問も、もちろんですが、中でも印象深いのはホームステイでした。私のホストファミリーはとても優しく、一生懸命私の拙い英語を聞いてくれました。みんなで作ったおにぎりは笑顔で、とても美味しそうに食べているのを見て嬉しくなりました。こんな素敵な経験ができて本当に良かったです。今回オーストラリアで得た経験を将来の自分の夢に生かしたいと思います。

今まで支えてくださった方々、本当にありがとうございました。

個人行動目標	達成度
積極的に動き、班員をまとめる	100%

Onigiri
Ambassador

in Australia
2017.7.26~8.2
ホストファミリー

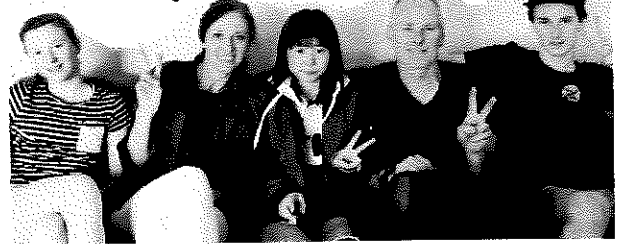
ホ-4ステイ

DAY1▷▷ホストファミリーのみんなが優しく迎えてくれて、夕食を一緒に食べた!

DAY2▷▷ビーチやショッピングに連れて行ってもらい、お昼にみんなでおにぎりを作った!喜んでもらえて良かった!

DAY3▷▷さよならパーティ!お別れは寂しかったけど感謝を伝えられて良かった!

スポーツ好き? Liberty
料理上手! Jenny
お喋り! Mick
とても優しい! Lincoln



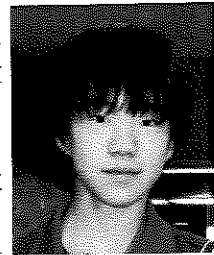
Dulwich High School

パティは "kotori" という日本とオーストラリアのハーフの14歳の女の子!日本語と英語を混ぜて楽しく会話できた!



おにぎり大使派遣事業を 通して

門脇中学校 毛利 大晟



私は、この夏のおにぎり大使派遣事業でのオーストラリア研修で貴重な経験を大きく成長することができました。四回の事前研修は大変でしたが仲間と共に協力し英語の研修やおにぎり作りの練習に取り組むことができました。七月二十六日から一週間のオーストラリアでの研修は市内見学からはじまり学校訪問やホームステイなど盛り沢山の内容でしたがどれも充実した研修となり、自分のバディやホストファミリーと英語でいろいろなことを話すことが出来ました。オーストラリアでの一週間はとても短く、あっという間に終わってしまいました。また自分の目標である「自分の英語力を試す」ということも達成できました。

これからより一層、英語の学習に力を入れていきたいと思っています。

個人行動目標	達成度
副班長として班長の負担を少しでも軽くできるように活動する。	90%

Australia

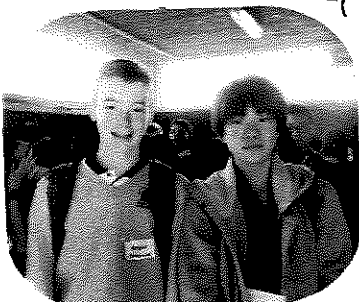
～ホームステイ～



ホームステイ先のお宅では3日間過でし庭で遊んだり、ショッピングに行ったり、ゲームをしました。とても優しい家族でおにぎりも3日目に作りました。写真は左が弟のオリバー、右が兄のマシューでとても仲のよい兄弟でした。日本からのお土産も喜んでくれました。とても楽しい3日間でした。

～学校訪問～ Dulwich, H.S.

学校訪問では、ダルクウィッチ高校に行きました。ここでは、おにぎりづくりと美術の授業を受けました。また日本と違い、モーニングティーというものがあり朝にジュースとフルーツがくはちられました。写真は左が私のバディ、アウガス(Augus)で同じ年でした。



高校生しかないかと思っていたのでびっくりしました。
← Dulwich, H.S. でバディとの一枚

～シドニー市内見学～

市内見学では、オペラハウスや教会博物館、クワンガ動物園などに行きました。どの場所もすごく美しく町並みもきれいでした。クワンガ動物園に行った日は雨でしたがゴアラヤカモノハシなどオーストラリアの珍しい動物が見れたのでよかったです。



←シドニー、オーストラリアからの写真。オペラハウスとハーバーブリッジを一望できます。

私の七日間

雄勝中学校 伊藤日向子



学校訪問では、初めは不安で緊張しましたが、バディが優しく接してくれたため、すぐに仲良くなれました。

バディが友達を紹介してくれたり、学校の色々なところを案内してくれたり、たくさんコミュニケーションをとれて、すごく楽しかったです。おみやげも喜んでくれたのですごく嬉しかったです。

ホームステイでは、急遽ホームステイ先が変わりましたが、ホストファミリーが優しく接してくださいました。おにぎりを作る時には真剣に作るのを見てくれたり、楽しそうにおにぎりをにぎってくれたので嬉しかったです。フットボールやシヨッピング、海などにも連れて行ってもらえて、充実した楽しい三日間になりました。

私はこの一週間のおにぎり大使派遣事業でオーストラリアの文化や街並み、環境、現地の方々の優しさに触れることができました。特に動物園では、日本にはいない動物ばかりで驚きました。ガイドさんの「みっちゃん」にもオーストラリアの文化をたくさん教えていただきました。この一週間、仲間達と協力したくさんのことを学びました。この学んだことと、出発前より上達した英会話力を将来に生かしていきたいです。

<p>個人行動目標 ・日本語をなみ�く使わないようにする ・楽しむ!</p>	<p>達成度 100% たいぷ達成!</p>
--	----------------------------

IN Australia!!

Home Stay

☀️ 1日目 夜の飯をたべました。おもしろかったです。

☀️ 2日目 サッカーとスポーツを見にいきました。子供でも面白かったです。おにぎりをたくさんもらいました!

☀️ 3日目 ショッピングが楽しかったです。おみやげもたくさんもらいました。おにぎりが大好きです。

ホストマザー
マリアさん!
やさしくて料理が上手!
お飯おもしろかったです!!

学校訪問

ハイリーはすごくフレンドリーで、一緒にいるだけで楽しくなれました。友達を紹介してくれたり、ボーイフレンドを紹介してくれたり...短いけどすごく充実した時間を過ごせました。お土産も喜んでもらえました! Dulwich high schoolのたくさんの人と関わり合えてすごくうれしかったです!

おにぎり大使派遣事業に 参加して

稲井中学校 本木 悠登



私は、今回のおにぎり大使派遣事業に参加して多くのことを学び経験することができました。

特に英語で相手にしっかりと自分の考えを伝えることができて良かったです。

ホームステイで、周りに助けられる人も少ない中、ホストファミリーとの会話をしていくうちに、会話の大切さを知りました。日本では何気なくしている会話も、外国に行くだけで相手に自分の考えを伝えることが難しくなりました。相手にしっかりと気持ちを伝えるには、うなずくだけの会話じゃなく声に出して伝えることで、より自分の気持ちが伝わることを実感しました。また、自分の知っている単語とジェスチャーだけでもしっかりと伝えようとすれば伝わったので、相手と話す時は、しっかりと伝えようとする必要だと感じました。

このような体験ができたのは、支えてくれた多くの方々のおかげです。今回の経験を様々な事に生かしてこれから生活していきたいです。

<p>個人行動目標 積極的にコミュニケーションをとる</p>	<p>達成度 90%</p>
------------------------------------	--------------------

ONIGIRI AMBASSADOR

HOME STAY

始めはホストファミリーとうまく馴染めるか不安だったが、家族全員が優しく接してくれたおかげで不安はなくなりました。元気な兄弟と一緒に遊んだりする内に仲が良くなり、楽しく生活することができました。最終日にはビーチと景色の良いところに連れてってもらいました。温かい家庭でホームステイができて本当に良かったです。



母... Katrina 父... Brian
祖母... Marian 叔父... Michael
兄... Matthew 弟... Oliver

DULWICH HIGH SCHOOL

バティのジョシュは15歳でバスケットボールを習っていました。学校の事を丁寧に考えしてくれてとても優しい人でした。日本に興味を持っていてマンガの話で盛り上がりました。おにぎりも身に入ってくれたので良かったです。

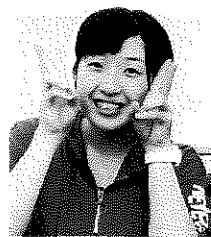


市内観光

オペラハウス、ハーバーブリッジ、ジブニータワ、タロン動物園など名所はもちろんきれいだった。すごかったですが、市街地も豪華な建築物がタラタラたり緑がタラタラとてもきれいでした。

おにぎり大使派遣事業に 参加して

鳴瀬未来中学校 成澤 爽花



私は、海外研修に沢山の不安がありました。ですが、そんな不安はみんなと話して薄れました。

オーストラリア一日目の市内観光では、写真やテレビで見て憧れだった「オペラハウス」に行き、写真を撮りました。

二日目からの「ホームステイ」では、ペアの寧々ちゃんと一緒に、積極的に話しかけに行きました。おにぎりを作ったときには、とても喜んでおり、私も嬉しくなりました。みんな海苔が好きで、つまみ食いをしました。

六日目の市内観光では、「シドニータワー」に行きました。ここでは、沢山の可愛いお土産が売っていました。オペラハウスがライトアップされたポストカードが売っており、沢山買いました。「タロンガ動物園」では、莉香と一緒に迷子になったけど、それも良い思い出です。

不安が多かったこの七日間でしたが、最後は全員で無事に帰って来れたので良かったです。そして、三十二名と先生方で楽しい思い出も沢山作れて、最高の海外研修でした。

<p>個人行動目標</p> <p>【英語】で沢山の人と話す</p>	<p>達成度</p> <p>120% ☆☆☆</p>
-----------------------------------	----------------------------

Australia in 2017

オニギリライオン

Home Stay - Eady -

1日目

- モロッコ4軒
- 美味しう70bb
- father's
- 作てく本
- 幸せなて

2日目

- 作きな
- 海そうで
- す、ピザ
- Pizza作り
- 夕食の
- 沢山

3日目

- 色
- father's daughter
- 花

4日目

- father's
- 仕事
- 少
- 楽

Liberty (12)

soccer

Danny (50)

料理

Trick (50)

優

Lincoln (16)

釣り

とても楽しい七日間でした。この事業を通して、沢山の友達が出来ました。オーストラリアの人とユニニケーション

とても楽しい七日間でした。この事業を通して、沢山の友達が出来ました。オーストラリアの人とユニニケーション

おにぎり大使派遣事業を通して

蛇田中学校 今野もも香



おにぎり大使として過ごした一週間を終え、私は一つ成長できたと思っています。

不安と期待を胸に向かったオーストラリア。飛行機に乗った時から全てが英語で戸惑いを隠しきれませんでした。それでも引率の方、先生、友人との会話はもちろん日本語で安心していました。そんな中で迎えるホームステイ。スラスラと発せられる暗号のような言葉達が少し怖くなりました。あと二日、本当にやってみようのか不安でいっぱいでした。そんな時、これまで私はいつもあきらめていました。でももう頼る人のいない今、やってみようと思えました。一歩前に進む事ができ、少しは一人で立つ自立と自分を律する自律の両方に近づくことができたとおもいます。

この事業を通して学んだ事、成長できたことは本当にたくさんありました。そんな機会をいただいたこととても嬉しく思います。

最後になりますが、ここまで支えて下さった皆様、本当にありがとうございます。

個人行動目標	達成度
集団の輪を壊さず自主性を高めるため自ら行動する。	100%

ONIGIRI AMBASSADOR

HOMESTAY

glad

Enjoy

Happy

Day 1 → 心なホストファミリーの変更で心配もたくさんでしたが優しい家族が私たちを迎えてくれて安心しました。

Day 2 → 娘のリリーと息子のチャーリーのフットサルを見に行きました。

Day 3 → ミヨッピニングにビーチにとても楽しかったです。

DHS

私のバディーは双子の男の子でした。コロンビア人でコロンビア語、英語、スペイン語が話せるとてもおしゃべりな子でした。全く日本語が通じないからこそ学ばないととても良い経験となりました。

SS

ミドニーの名所をたくさんまわりました。ずいぶん良かった天気が動物園の日に。びしょびしょになりながら探すコアラとカンガルーを見つけたいは倍々とても楽しかったです。

おにぎり大使を

振り返って

牡鹿中学校 平塚 隆人



私は、今回のおにぎり大使派遣事業でたくさんのことを学び、とてもいい思い出をつくることができました。

ホームステイなどで最初は、何を話しているのかわかりませんが、相手がジェスチャーなどをいれてくれたおかげで相手が何を話しているかわかることができました。自分も話す時にジェスチャーを取り入れることで相手も理解してくれました。

それに、ホストファミリーの方々がとてもフレンドリーだったのでとても話しやすかったです。だからコミュニケーションがとてもとりやすかったです。

そして私がオーストラリアで特に印象に残っている場所は、シドニータワーです。シドニータワーはとても高く、シドニー全体を見わたすことができましたのでとても気に入りました。

私は、この事業で学んだことを今後の生活に生かしていきたいと思います。

個人行動目標	オーストラリアの文化を学びたい	達成度	100%
	思い出をつくる		

ホームステイ!!
 私は、6人のホストファミリーにお世話になりました。
 1日目は、英語を話せるのが不安でしたがジェスチャーなどを取り入れながら楽しく話しました。2日目は、ショッピングに行きました。そのショッピングではあまり目にはできないものをたくさん見ることができました。その日の夜に私は、日本のおみやげを渡しました。おみやげを渡したらとても喜んでいました。3日目は、パーティー会場まで最後まで楽しく話しました。
 Hostfamily
 Mrs. Katrind Mr. Matthew
 Mr. Brian Mr. Oliver
 Mrs. Marian
 Mr. Michdel
 } → Very good!!

学校訪問
 バデーは Oskerd というお祭りとてもおもしろく、たのしく話しました。それに、とても優しい方でした。
 おにぎり作りでは楽しくつくりました。

市内見学
 市内見学では、オペラハウスやシドニータワー、タラガ動物園に行きました。特に、シドニータワーからの景色は絶景でした!!

おにぎり大使派遣事業に 参加して

荻浜中学校 平塚 芽衣



私は、今回のおにぎり大使派遣事業に参加して、たくさんのことを学びました。

特に、日本語の通じないことがどれだけ大変なのがよくわかりました。自分の伝えたいことを伝えるのがこんなにも難しいなんてというときもありませんでしたが、仲間と協力しあい無事乗りきることができました。

また、オーストラリアの文化や特色もしっかりと理解することができ、オーストラリアが親しみやすい国と思えるようになってきました。

今回のおにぎり大使派遣事業では、普段だったら絶対にできないような体験ができたり、あらためて家族や学校の先生方に感謝することができました。そして、この経験が今後の生活、進路に生かしていきたいです。

個人行動目標	達成度
積極的に英語を話す	100%

ONIGIRIA M BASSADOR in 2016

HOME STAY

Day 1 ホストファミリーと対面。
急ぎの変更にもかかわらず
あなたかく迎えてくれました。
プレゼントをわたしたか
としても喜んでくれました。

Day 2 リーとチャーリーがサッカー
とフットボールを習ってる
ため応援に。
お昼にいっしょに作った
おにぎりを「おいしい」と
食べてくれました。

Day 3 ホストファミリーとホスト
マザーといっしょに海
とショッピングへ。
海はとてキレイ
でした。ショッピング
では、ホストファミリーが
色々なものを連れて
いってくれました。

父 ケヴィン →
母 シヤネル
娘 リー
息子 チャーリー
息子 ジョージ



DULWICH HIGH SCHOOL
バティの Jane は
日本の文化が大好きで、日本にとて
くわしく、日本語も
上手でした。
お土産に折り紙
やこまをわたしたか
とて喜んでくれ
ました。南中4年
をからいって
言ってくれました。



「おにぎり大使派遣事業 に参加して」



石巻地区広域行政事務組合
武山 貴

平成二十九年六月十八日の結団式から八月十一日の解団式に至るまで約二ヶ月、今年度のおにぎり大使派遣事業が実施されました。

今年度のおにぎり大使派遣団は石巻圏域二十二校より推薦された中学三年生三十二人の生徒と四人の引率教諭、二人の事務局員計三十八人の派遣団となりました。

「一人一人が洗練された紳士・淑女としてのふるまいを！」をモットーに今年度は「勇往米進」世界に輝け日本のおにぎり」をテーマとして各生徒は自分の設定した目標にそれぞれ突き進んだのではないでしょうか。

事前研修を四回実施し、日常会話で使用する英語を交えてのコミュニケーションの炊飯実習、学校訪問、お別れパーティーで披露する「南中ソ

ラン」の演習と短い期間でありましたが毎回、生徒が積極的に取り組んでいる様子が伺えました。

七月二十六日、出発式を終えた派遣団はバスにて羽田空港、そして羽田空港からシドニー国際空港へ向かいました。

翌日の現地研修一日目、約九時間にわたる長旅をし空港に到着した我々を、一面の青空と清々しい空気が迎え入れてくれました。季節は冬とのことでしたが強い日差のためか寒さは感じませんでした。現地に着いた団員は皆、長旅による疲労の様子はなく、異国の地での研修に対する不安というよりはこれから始まる研修を楽しみにしているように感じました。

我々一同は、シドニー国際空港からボンダイビーチを経由し、ダドリーページの丘でシドニー市内を一望し、オペラハウス、ミセスマッコリーズポイント、オーストラリア博物館、セイント・メアリー大聖堂、ロックス地区を見学をしました。この市内観光ではオーストラリアの雄大な建造物、景観を通じて歴史・文化など肌で感じ学ぶことができました。また、昼食では「フィッシュアンドチップス」、夕食は「オージービーフ」を食べる食文化にも触れ、その量・大きさに驚きを感じました。

現地研修二日目、学校訪問とホームステイを実施しました。学校訪問では団員とダルウィッチハイスクールの生徒がペアを組み、ジェスチャーを交えながら積極的に会話を楽しみ、親睦を深めている様子が伺えました。

ホームステイでは不安そうな団員、期待に胸を躍らせている様子の団員、様々な団員の表情が見受けられましたが、二泊三日のホームステイを終え、団員一同は自信に満ちた表情でホストファミリーと共に戻ってきたことから充実したホームステイを送ったものと感じ取ることができました。お別れパーティーではホストファミリーと団員と楽しく食事を取り、事前研修で練習した「南中ソラン」を披露しました。ホストファミリーは写真を撮ったり、一心に踊りを観たり、まるで自分の家族を見るような眼差しであり、この二泊三日のホームステイで家族同様に団員を受け入れていたのだと感じました。帰りのバスではホームステイの様子を団員同士で語り合っていました。

現地研修最終日には、シドニー市内を一望できるシドニータワーに上り、シドニー市内を上から眺め、上から見たシドニー市内は思っていた以上にコンパクトシティであると感じました。また、タロンガ動物園に到着するころには強い雨が降りまし

たが、団員は雨にも負けず、合羽を羽織り園内の見学をしていました。現地研修を終えた派遣団はオーストラリアの地を後にしました。

この事業の最後には団員それぞれが感じ取ったことを壁新聞にし、解団式を終え今年度のおにぎり大使派遣事業の一切を終えました。

この事業を通じて学んだ異国での経験が、今後の団員の成長の一助となり、成長した団員が石巻圏域の発展につながる人材に成長することを期待します。

最後に、この事業の実施にあたり、御支援と御協力をいただいた皆様に深く感謝を申し上げます。



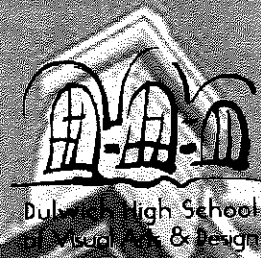
▲シドニー市内

Sydney 市内見学



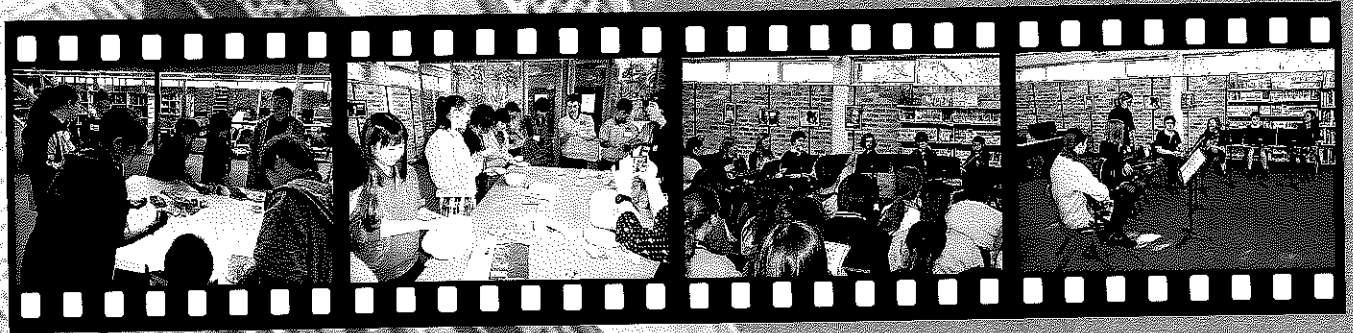
Home Stay





Dulwich High School
of Visual Arts & Design

学校訪問



Dulwich High School
of Visual Arts and Design
Administration



Dulwich High School of Visual Arts & Design